

3	1章 MCGグループがめざす姿
22	2章 持続的な成長戦略
56	3章 ESGの強化
57	サステナビリティ担当役員メッセージ
58	サステナビリティ推進
59	サステナビリティ指標
Environment	
62	TCFD提言に基づく報告
64	カーボンニュートラル/ サーキュラーエコノミーの推進
Society	
66	CHROメッセージ
67	人材戦略
72	持続可能なサプライチェーンの構築
73	従業員主導でのOur Way (大切にすべき心構え)の策定
Governance	
74	ガバナンス・リーガル担当役員 メッセージ
75	コーポレートガバナンス体制
80	実効性評価
81	役員報酬
86	リスク管理
88	コンプライアンス
90	取締役一覧
92	社外取締役座談会
95	4章 財務・非財務情報

サステナビリティ担当役員メッセージ

KAITEKIに対する揺るぎないコミットメントのもと、 ステークホルダーの皆さまに持続的な成長をお届けします



執行役員
チーフストラテジーオフィサー
ジョセフ・リナルディ

私たちのサステナビリティへのコミットメント

三菱ケミカルグループは2011年にKAITEKIのコンセプトを掲げて以来、サステナビリティを事業活動の礎としてきました。

2023年の年初には、人、社会、そして地球の心地よさが続いていくKAITEKIの実現をリードしていくことをPurposeとした新たなグループ理念を発表しました。また、新しいSloganである「Science. Value. Life.」は、KAITEKIに対する私たち

の揺るぎないコミットメントを示したものです。これらは、明確で具体的な当社グループのめざすべき方向を示し、日々の業務遂行と意思決定の基盤となります。当社グループでは、このKAITEKIのコンセプト「Management of Sustainability、MOS」「Management of Technology、MOT」「Management of Economics、MOE」を、事業活動のあらゆる側面に一貫して取り入れています。

経営方針「Forging the future 未来を拓く」の実行計画も、環境・社会・ガバナンス(ESG)の要素を重視し、サステナビリティへの姿勢を強く反映したものです。財務目標を達成するには非財務価値の追求が不可欠であるとの認識のもと、GHG排出量や廃棄物の削減、従業員エンゲージメントや顧客満足度の向上、ダイバーシティの確保など、積極的な環境や社会に対する取り組み目標を設定しています。加えて、変化する顧客ニーズに応える革新的なソリューションを提供することで、今後数年間で、サステナビリティ関連製品の割合を大幅に増やすことをめざしています。

実績と今後に向けて

これらの施策を着実に実行してきたことで、近い将来に大きな飛躍を遂げる準備が整いました。直近1年の成果をいくつか挙げます。

当社グループは、2030年と2050年のGHG排出量削減目標を達成するため、包括的なエネルギー転換プログラムを立

ち上げました。再生可能エネルギーへの転換や、欧州・米州におけるパフォーマンスポリマーズ事業およびアドバンスドマテリアルズ事業の生産拠点においてさまざまな対策を講じることで、グループ全体のGHG排出量削減に大きく貢献しました。

サーキュラーエコノミーを推進する革新的なソリューションも発表しました。例えば、欧州・米州では、熱可塑性プラスチック中間材料を用いたサステナブル・ブランドの開発から廃棄物回収までを含む総合的なプログラムを推進し、日本では、ペットボトル用ラベルの再生や、使用済み自動車からのアクリル樹脂回収やケミカルリサイクル手法の開発など、リサイクルへの取り組みを強化するために他社と連携しています。

これらの成果は、サステナビリティへの確固たる貢献と、サステナビリティの実践を事業全体に取り入れるという当社の姿勢を明確に示すものです。取り組みはまだ始まったばかりですから、今後数年間、積極的な目標を掲げていきます。環境への影響を最小限に抑えるために、業界パートナー、研究機関などと協力することをめざします。また、こうした取り組みの進捗状況やコミットメントを、ステークホルダーに正確に発信していきます。

当社グループは、培った経験と革新的な技術を駆使しながら、環境への責任を果たし、健全な社会を実現し、そして経済の発展へとつながる道を切り拓いていきます。